

一般社団法人長野県介護支援専門員協会

事例報告会

～ 自身のケアマネジメントを振り返り、事例から学んだこと ～

演 題 募 集

12月15日（木）事例報告会をオンライン（Zoom利用）開催します。

皆さまご応募をお待ちしております。

介護保険制度がスタートしてから20年が過ぎました。地域包括ケアを目指した2025年はすぐそこまで来ています。時代の変化に合わせて介護支援専門員に求められる役割も変化してきています。

事例報告会では、皆さんが日頃実践しているケアマネジメントを発表していただきながら、介護支援専門員として自分はいま何をすべきか、ともに考えていきたいと思いをします。

1 応募資格

発表者は長野県介護支援専門員協会の会員であること。

2 発表件数

同一事業所から複数の申込みも歓迎いたします。

なお、同一発表者の応募は一つに限らせていただきます。

3 費用

参加費・旅費・資料作成費・郵送費等は各自の負担となります。

4 倫理的配慮

- (1) 事例や調査に基づく研究発表の場合は、研究に活用したデータがプライバシーを侵害するおそれのあるものについては当事者に説明し、発表について了解を得ていることを抄録（資料）中に記述してください。この記述がない事例研究発表や調査研究発表は、採択されないことがあります。
- (2) 事例や調査対象の記述に際して、個人や地名、団体、学校等の特定につながる記述をしないようにしてください。この配慮が不十分な発表は採択されないことがあり、また採択された場合であっても修正を求めます。
- (3) 発表者が所属する機関の倫理委員会で承認された研究である場合は、その旨を抄録（資料）中に記載してください。

5 演題申込方法

(1) 下記 Google フォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。

Google フォーム : <https://forms.gle/bTfbgwMqvBCSYM58>

抄録原稿等は、後日メールにて事務局宛 (nacm@tuba.ocn.ne.jp) ご提出ください。

件名は“抄録原稿”としてください。

詳しくは、別紙「抄録原稿の作成方法・発表方法」をご確認ください。

(2) エントリー締切日：令和4年10月31日(月)

下記内容で事例を報告していただける方を募集します。

<テーマ及びキーワード>

1. 医療・多職種連携、看取り期の支援

- ① 入退院時における介護支援専門員の役割
- ② 在宅医療における介護支援専門員の役割
- ③ ターミナル期における介護支援専門員の役割
- ④ 介護支援専門員として意思決定支援
- ⑤ 多職種連携による医療介護ネットワークの現状
- ⑥ その他

2. 認知症のケアマネジメント

- ① 本人理解のアセスメント
- ② 社会生活の継続と役割の尊重
- ③ 疾患の理解と生活障害へのアプローチ
- ④ 意思決定支援
- ⑤ 若年性認知症の人への生活支援
- ⑥ 家族への支援
- ⑦ 地域の理解と支え合い
- ⑧ その他

3. 地域づくり、共生社会、社会参加

- ① 地域の問題点と解決を図る支援
- ② 暮らしを支える地域のつながり
- ③ インフォーマル支援の活用
- ④ 過疎地域におけるネットワーク
- ⑤ 地域と共にある災害への備え
- ⑥ 災害時における介護支援専門員の役割と連携
- ⑦ その他

4. 施設における介護支援専門員の役割

- ① ターミナルケアにおけるケアマネジメント
- ② 在宅復帰に向けた支援
- ③ 施設における多職種連携
- ④ 施設における介護支援専門員の役割
- ⑤ 介護支援専門員が機能を発揮できる施設の環境づくり
- ⑥ ICT、介護ロボットを活用したケアマネジメント
- ⑦ 本人の想いの実現
- ⑧ その他

発表時間は、事例報告・質疑応答で10分から20分を予定しています。
報告者人数は制限していません。